



こすもスマイル



発行／小林市立病院
地域医療連携室

20号

平成28年6月30日発行

～事業管理者のあいさつ～



平成22年3月に小林市病院事業管理者を拝命し、はや6年が過ぎました。この間、医師会の先生方におかれましては病院運営に対しご理解と多大なご協力を頂き、心より感謝申し上げます。これに対し、鹿児島大学、宮崎大学をはじめ多方面へ医師招聘をお願いに上がっておりますが、残念ながらその成果は得られておらず誠に申し訳ございません。

さて、平成28年診療報酬改定では2025年問題への準備が反映された内容が見て取れ、さらに地域医療構想では地域包括ケアシステム構築が急務とされています。これまで、当院は地域医療支援病院として救急医療と入院医療を主務として来ましたが、今後、在宅医療への協力も視野に入れつつその診療態勢の変革を今迫られています。一方では、来年春からの導入が予定されております新専門医制度が、地方都市従事の医師数増に繋がるか否かは甚だ不透明で、当院常勤医数が平成21年以前と同程度に復する見込みは依然厳しい状況です。スタッフの高齢化も顕著で、激動の変革に追随することすら危うい状態が今後も継続すると予想されますが、西諸地域の医療体制を守るために、職員一同とともに引き続き努力して参る所存です。

医師会の先生方を始め当地域の皆様に、今後ともご理解とご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

小林市立病院 事業管理者 坪内 斉志

理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯(しんし)な姿勢で日々研鑽(けんさん)に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



診療部紹介

今回は

消化器外科・腫瘍外科

です。

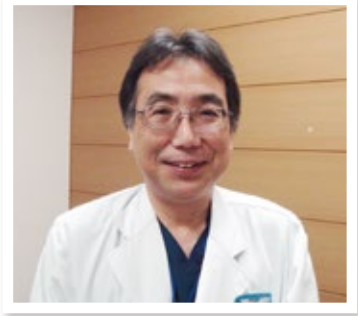
消化器外科・腫瘍外科は、癌の診断と手術、化学療法を含めた治療および
良性疾患に対する手術などが業務の中心となっています。全身麻酔手術件
数は2012年231件、2013年207件、2014年200件、2015年
227件と推移し、年間200件以上の手術件数が維持できていることは周囲
の先生方のおかげだと感謝しております。また悪性疾患の手術件数は2012

年87件、2013年80件、2014年70件、2015年84件と推移しています。
癌患者においては高齢者、進行癌症例が比較的多いこともあり同時に化学療法件数も増加し、その件数は
2012年961件、2013年1063件、2014年824件、2015年688件と推移し、対象疾患は食道・
胃・大腸癌、肝胆膵癌、肺癌、乳癌であり、症例によっては高次病院である鹿児島大学や宮崎大学と連携をとっ
て治療しています。また治療後に残念ながら終末期へ移行される患者に対しては緩和ケアチームの協力のも
とに終末期医療を外来・入院で行っています。

現在の消化器外科・腫瘍外科のメンバーは、坪内斉志事業管理者、島名昭彦医長、泊賢一朗医師、本年4
月から宮崎大学救急部から外科研修を希望され赴任した宗像駿医師、そして私徳田の5名です。救急車受け
入れ等の救急患者の対応は宗像医師を中心に当院の全科医師でバックアップしていますが、近隣の先生方に
は急性期治療後の患者の治療継続にご協力して頂き、非常に助かっております。誠にありがとうございます。
また、2016年4月より外科外来スケジュールが変更となり毎週月曜日が休診となりご迷惑おかけしている
ことをお詫びいたします。

今後は、包括医療の実践のためにも、地域医療機関の一つとして消化器外科・腫瘍外科領域の疾患を中心
に他の医療機関との連携をさらに充実していきたいと考えていますので、ご協力よろしく願います。

小林市立病院 病院長 徳田 浩喜



今回のお花

小林華道連盟より

毎週すばらしいお花をいただいております。



看護部紹介

今回は **5 階 病 棟** です。

今回は5階病棟を紹介します。当病棟は今年4月より消化器外科・腫瘍外科として新しく宗像駿医師が入職され、看護師も新採用者3名（看護補助者1名含む）を加えて賑やかな新年度を迎えることが出来ました。

病棟では外科医5名、看護師、管理栄養士1名（病棟専属）の他に薬剤師、リハビリスタッフ（PT、OT、ST）、MSW、退院支援看護師、看護補助者、クラークと共にチーム医療に取り組んでいます。看護師は術前カンファレンス（毎週火曜日、木曜日8：00～8：30）、化学療法カンファレンス（毎週金曜日8：00～8：30）やNST回診、RST回診などにコメディカルと共に参加しています。術前カンファレンスでは入院中の患者さんの手術に関する情報や看護上の問題点、術後に予想される問題点を取り上げています。また化学療法カンファレンスでは化学療法を受ける患者さんが現在抱えている悩み、終末期を迎えている患者さんの看護上の問題点等を取り上げ、医師へ相談し問題解決に向けて話し合いを行っています。

当院には緩和ケア病棟がないため、ゆっくりと患者さんに向き合う時間が取れず、特に癌性疼痛や終末期の看護では苦悩する日々ですが、今年6月から当病棟の看護師が緩和ケア認定看護師資格取得に向けて大学へ入学しました。癌の患者さんや化学療法を受ける患者さんの多い当院ではとても必要な資格であり、今後の活躍が期待されます。

今年入職した3名の新採用者を紹介します。

入江 亮太さん



特技・趣味： バレーボール、スノーボード、バトミントン、バイク整備
ひとこと： 以前肝臓疾患メインの消化器外科で働いていましたが、5階病棟では色々な疾患の患者さんの看護を学ぶことが出来ます。プライベートではバイクツーリングを月1回している他、11ヶ月の息子の子育ても頑張っています。息子に誇れる父親になれるよう一生懸命頑張ります。

伊東春果さん



特技・趣味： バレーボール
ひとこと： 初めての分野でわからないことだらけですが、消化器疾患について学びたいと思います。また、小林で働くのも初めてで地域性に早く慣れ、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

田中直将さん



特技・趣味： 週1回のバレーボールが好きです。
ひとこと： 今年の4月から看護学校に通い始めたのでこれからの目標は2年で免許を取得できるように頑張ること、病院での仕事を覚えて実習や就職に生かしていこうと思います。

5階病棟 副看護師長 森川 裕子

コメディカル紹介

今回は

リハビリテーション室

です。

当院リハビリテーション室のスタッフ数は、平成28年6月で理学療法士10名、作業療法士7名、言語聴覚士2名、アシスタント1名の計20名となりました。今年度より新たに「がんのリハビリテーション」の施設基準を取得し、各診療科の依頼に対応できる体制づくりを行っています。そこで今回は、「がんのリハビリテーション」についてご紹介します。

「がんのリハビリテーション」は、入院中の患者さんで食道がんや肺がん、胃がんや胆嚢がんなどの消化器系のがんや、舌がんや咽頭がん、乳がんなどが対象となります。それらのがんの周術期（術前・術後）にリハビリテーション専門職が介入することにより、患者さんの回復を促す効果が期待されています。また化学療法による体力の低下や緩和ケア移行後の在宅復帰支援などに介入し、終末期においてもその役割を果たす役割もあります。最後までご本人やご家族のご希望に添える形で生活していただくことを目標に介入しています。身体面や環境面だけではなく精神面へのアプローチも重要で、それらへの適切な対応が必要となってきます。「がん」を呈された患者さん（もちろんそれだけではないのですが）は、身体的な痛み以外にも、精神的・社会的・経済的・霊的など様々な痛みと戦わなければなりません。我々リハビリテーション専門職は、それらすべての痛みに関わり、回復もしくはソフトランディングさせるための一助を担うこととなります。これらはすべて「チーム医療」の成せる技であり、改めて多職種連携の重要性を認識させられています。

リハビリテーション室では、「がんのリハビリテーション」研修会や「緩和ケア」研修会、学会等への参加も含め、更なるスキルアップを目指しています。



リハビリテーション室室長 清水 秀一

第 21 回 症例 検 討 会

平成28年4月25日（月）に「第21回症例検討会」を当院2階大会議室にて開催しました。今回は、院外から2人の方に発表をして頂きました。また、大勢の方々にもお越し頂き、大変充実した会となりました。ありがとうございました。

第 21 回 症 例 検 討 会

日 時：平成28年4月25日（月）18時30分～ 参加人数 92名

座 長：小林市立病院 院長 徳田 浩喜

演題者（発表者）

1. 外来透析患者のフットケアを通して
～看護チームの連携の重要性を認識した1事例～
外来透析室 入木 香織
2. 合意目標を達成した症例について
～生活行為向上マネジメントを使用して～
リハビリテーション室 伊集院 由加里
3. 封入体筋炎に対する理学療法
～身体組成および筋出力評価による運動処方の一考察～
野尻中央病院 リハビリテーション部 大山 史朗
4. メッシュを用いた腹壁癒痕ヘルニア修復術後の小腸皮膚瘻の1例
消化器外科・腫瘍外科 島名 昭彦



症例検討会のご案内

第22回症例検討会を下記の日程で開催する運びとなりました。皆様には、何かとお忙しい時期ではあると思いますが、スケジュール調整のうえ、多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成28年8月1日（月）18時30分～

場 所 小林市立病院 2階大会議室

演題応募も受け付けております！！たくさんのご応募お待ちしております。

演題締切 7月11日（月） 抄録締切 7月19日（火）

※演題申込はFAXにて受け付けてます。また、メールでも応募可能です。

応募方法などご不明な点がございましたら、地域医療連携室までお問い合わせ下さい。

連絡先 小林市立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225（直通）

FAX 0984-23-8226

MAIL k_hosp4@city.kobayashi.lg.jp



7月の行事食

土用 丑の日



お品書き

- ・ひつまぶし風
- ・茶碗蒸し
- ・オクラの湯葉和え
- ・呉汁
- ・たくあん



鰻蒲焼のたれレシピ

1. 酒とみりんを強火にかけ沸騰させます。沸騰して約1分煮切ります。
2. 1に醤油と砂糖を入れ弱火で10分～30分焦がさないように加熱させます。味見をしながら濃口醤油を足し好みの濃さに仕上げれば完成です。

<ポイント>

必ず酒とみりんを煮切ることで。アルコールは気化しやすいため香りを損なってしまうため醤油の香ばしさが飛びやすくなりますので注意してください。

鰻蒲焼のタレ

材料（4人分）

みりん 50cc（大さじ3）

酒 15cc（大さじ1）

濃口醤油 35cc（大さじ2）

砂糖 16g（大さじ1と1/2）



連絡先 小林立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225（直通）

FAX 0984-23-8226

編集後記

ジメジメとした梅雨真っ只中、少し憂鬱になる日中に加え夜中の大雨と雷で不眠に悩む日々を過ごしております。

そんな中、至る所に咲き誇る色とりどりの紫陽花を見て「あの家の紫陽花きれいだなあ、欲しいなあ」と思いながら過ごすことがこの時期の楽しみです。

さて、梅雨が明ければいよいよ夏到来！気分が上がる方も多いとは思いますが蒸し暑いこの季節、実は私は苦手なのです。今年は“涼”を感じる場所をたくさん巡ることができればなあと思う今日この頃です。



医師事務作業補助 石橋 加奈枝